

令和4年8月

総務大臣 金子 恭之 殿

一般社団法人東京府中FM
代表理事 富士 行理

一般社団法人東京都LPガス協会
会 長 尾崎 義美

非常用電源としてのLPガスを燃料とした発電機の
設置推進について（要請）

標記の件、長時間の停電が発生した場合、災害時のコミュニティ放送局の非常用電源として、LPガスを燃料とした発電機の設置推進についてご理解ご支援をお願い申し上げます。

一般社団法人東京府中FM(以下「府中FM」という。)は、災害等による停電時も緊急情報や避難情報を途切れなく放送するため無停電電源を備え、停電が長時間に及ぶ場合には発電機を起動します。現行の発電機は一般的なガソリンエンジン発電機です。燃料のガソリンの貯蔵は消防法令により一般的には40リットル未満に限られ、40リットルでの運転時間は概ね40時間(弊社スタジオ番組送出機材限定)は保つものの、大規模災害の場合、ガソリンの容器に充填確保が困難になることが予想され、電力喪失による放送中断を懸念しています。

一方、LPガスは同重量のガソリンの約2倍の連続運転時間があると共に容器に充填されているため劣化せず発電機の始動性にも大変優れており、長期に渡り停電が続いた場合の安定的な燃料供給についても心配はいりません。大規模災害への備えとして大変有用なエネルギーです。

去る令和4年4月19日、府中FMと一般社団法人東京都LPガス協会北多摩南部支部府中部会は「災害時におけるLPガスの二次災害を防止するための放送協定」を締結したところですが、東京都LPガス協会としましても災害時におけるLPガスの二次災害を防止するためにコミュニティ放送等を通じて市民に呼びかけていただき、そのため放送事業への優先的なLPガスの供給を図りたいと思います。

地震や水害及び火災にも強い分散型のLPガスは、国の「エネルギー基本計画」にもエネルギー供給の最後の砦とされ、これまで高い評価をいただいております。

現在コミュニティ放送局では大変厳しい経営状況におかれております。総務省におかれましては上記の観点から、災害時の備えの強化のためにLPガス発電機の設置推進にご理解ご支援の程よろしくお願い申し上げます。